

カトリック正義と平和協議会 90min.学習会



パレスチナ問題と キリスト教



イエス・キリストが生まれ、福音を宣べられた、聖地イスラエルとパレスチナの地では、長い年月を経て今日にいたるまで、何を体験しナクバ(大惨事)にいたっているのでしょうか・・・日本ではほとんど報道されることがありません。

大国の植民地政策によって、また聖書の記述をもとに「ユダヤ人が神から約束された土地を収得するのは正当」と主張するシオニズム運動によって故郷を奪われ、熾烈な暴力と劣悪な環境に曝されているパレスチナ難民の苦境について、私たちは多くを知ることができません。

イエスの目、心、想いから、この現実に応えるため、パレスチナのキリスト者による非暴力での抵抗運動(サビール)について、大町司祭のお話しに耳を傾け・・・主のご降誕祭であるクリスマスを迎える前にもともに考えてみませんか。

お話 牧師/司祭 ペテロ 大町信也さん

日本聖公会 北海道教区 札幌キリスト教会・有珠聖公会牧師

1956年姫路生れ。1988年より聖公会司祭。聖公会神学院教員を経て現職。「外国人住民基本法の制定を求める北海道キリスト教連絡協議会」(北海道外キ連)事務局長。「安保法制」に反対する北海道宗教者連絡会事務局長。



日時:2019年12月17日(火) 18:30~20:00

会場:カトリックセンター (中央区北1東6)

旧中央体育館向い 地下鉄東西線「バスセンター前」下車
10番出口より徒歩3分

参加費 無料

主催 カトリック札幌地区正義と平和協議会

問合せ 松永 武 011-864-5526

